

環境省「環境報告ガイドライン」(2018年版)との対照表

項目	該当ページ	記載項目
環境報告の基本的事項		
1. 環境報告の基本的要件	3	編集方針
2. 主な実績評価指標の推移	WEB	データ編
環境報告の記載事項		
1. 経営責任者のコミットメント	4-5, 32	トップメッセージ、(環境)基本的な考え方、環境行動計画「グリーンアクションプラン」
2. ガバナンス	14-16, 32	コーポレートガバナンス、情報開示、環境経営の推進体制
3. ステークホルダーエンゲージメントの状況	17-19, 34	ステークホルダーとの対話、環境コミュニケーション
4. リスクマネジメント	10-11, 12	価値創出フローと社会的課題、日本製紙グループのCSRにおける重要課題(マテリアリティ)
5. ビジネスモデル	6-7	総合バイオマス企業としての持続可能なビジネスモデルと事業概要
6. バリューチェーンマネジメント	10-11, 23-30, 48-50	価値創出フローと社会的課題、森林経営・原材料調達に関わる責任、製品の価値向上
7. 長期ビジョン	-	-
8. 戦略	4-5, 32, 8-9	トップメッセージ、(環境)基本的な考え方、CSR活動と企業価値の向上
9. 重要な環境課題の特定方法	32, 33, 10-11, 3	環境行動計画「グリーンアクションプラン」、日本製紙グループ環境行動計画「グリーンアクションプラン2020」における2017年度の進捗状況、価値創出フローと社会的課題、報告の対象組織
10. 事業者の重要な環境課題	32-34, 33, WEB	(環境)方針とマネジメント、日本製紙グループ環境行動計画「グリーンアクションプラン2020」における2017年度の進捗状況、データ編
主な環境課題とその実績評価指標		
1. 気候変動	WEB	データ編
2. 水資源	WEB	データ編
3. 生物多様性	6-7, 10-11, 12, 40-42, 62, 63, 64	総合バイオマス企業としての持続可能なビジネスモデルと事業概要、価値創出フローと社会的課題、日本製紙グループのCSRにおける重要課題、生物多様性の保全、日本製紙グループの主要な社会貢献活動一覧、西表島での外来植物駆除活動、「丸沼高原 植樹2018」を開催
4. 資源循環	33, 39, WEB	日本製紙グループ環境行動計画「グリーンアクションプラン2020」における2017年度の進捗状況、産業廃棄物の再資源化、データ編
5. 化学物質	35, WEB	化学物質の管理、データ編
6. 汚染予防	34, 35, WEB	環境コンプライアンスの強化、土壌汚染の防止、データ編